

オ 研究主題

○農業

生徒の実態に即した教育内容の精選と指導法
「農業基礎」の指導について
特色ある学科づくりについて

○工業

「工業基礎」の内容及び取扱いの研究
「工業数理」の内容及び取扱いの研究

○商業

新指導要領と商業教育の新しい課題
現代企業会計制度について
実験実習等体験学習の指導について
特色ある学科づくりについて

○家庭

特色ある学科づくりについて
「家庭経営」における総合実習の指導
産振施設設備の基準と管理について

カ 講師

経済企画庁経済研究所主任研究官 矢島 不二男
福島婦人少年室長 加藤 キミ
福島県教育センター指導主事 亀岡 一俊
県立耶麻農業高等学校教諭 立川 貞二
県立本宮高等学校教諭 阿住 義久

② 学校家庭クラブ・学校農業クラブ指導者研修会

ア 目的

本県における学校家庭クラブ・学校農業クラブの現状を分析し、指導上の問題点について研究協議し、望ましい指導のあり方を探求するとともに担当教員の指導力の向上に資する。

イ 期 日 昭和54年2月19日(月)～2月20日(火)

ウ 会 場 福島県教育センター

エ 参加者数

家庭クラブ指導者 52名
農業クラブ指導者 25名

オ 内容

- ホームプロジェクト・学校家庭クラブ・学校農業クラブ活動の指導法と評価について
- 学校家庭クラブ・学校農業クラブの組織と指導上の諸問題
- 新指導要領と家庭クラブ・農業クラブ

カ 講師

富士写真フィルム株式会社仙台営業所 宇佐美 等
川口屋写真機店係長 阿曾 正寛
フジカラー指定福島現像所所長 三浦 弘

第11節 定時制・通信制教育

1 高等学校定時制・通信制教育研修会

(1) 目的

定時制・通信制教育の諸問題について研究協議を行い担当教員の資質の向上をめざし、定通教育の充実を図る。

(2) 期 日 昭和53年5月11日(木)～5月13日(土)

(3) 会 場 福島県教育センター

(4) 講師・講演題

「思春期の精神障害」
福島県精神衛生センター所長 上野 文弥

(5) 分科会・研究内容

下記のことについて協議研究した。

① 管理運営

ア 勤労にかかわる体験的学習について、教育課程の編成上、その具体的取り扱い及び評価の方法をどのように進めたらよいか。

イ 教育内容、修業年限、定通併修並びに生涯教育的観点の導入等、定通教育の抜本的改善を図るにはどうすればよいか。

② 学習指導

ア 多様な生徒の実情に即して、学習意欲を高めるための教育課程を編成するにはどうすればよいか。

イ 生徒の実態に応じて、基礎学力を定着させるための効果的な学習指導はどうか。

③ 生徒指導

ア 中途脱落生徒を未然に防止し、その学習継続を維持させるための指導はどうか。

イ 勤労生徒の事故防止対策と基本的生活習慣を育成するための指導はどのようにしたらよいか。

④ 各教科以外の教育活動

ア 学習指導や生徒指導に密着した各教科以外の教育活動を有機的に推進するにはどうしたらよいか。

イ 定通修学指導事業の効果的な運営はどうか。

2 第27回東北地区高等学校定時制・通信制教育振興会総会並びに第30回東北地区高等学校定時制・通信制教育研究協議会

(1) 趣 旨

高等学校定時制・通信制教育における現状および将来の諸問題について研究協議を重ね、東北各県相互の理解を深めるとともに、今後の振興を図る。

(2) 期 日 昭和53年6月28日(水)、29日(木)、30日(金)

(3) 会 場 岩手県立杜陵高等学校(盛岡市)

(4) 参加人員 約350名

(5) 部会及び分科会

① 管理運営部会(第1分科会)

② 学習指導部会(第2分科会)

③ 生徒指導部会(第3分科会)

④ 各教科以外の教育活動部会(第4分科会)

3 定時制・通信制教育修学指導事業

(1) 目的

この事業は、勤労青少年教育の重要性にかんがみ、勤労青少年に高等学校生活の意義を学ばせるとともに、生徒相互間、教師と生徒間の人間的接触を深めさせ学習意欲の向